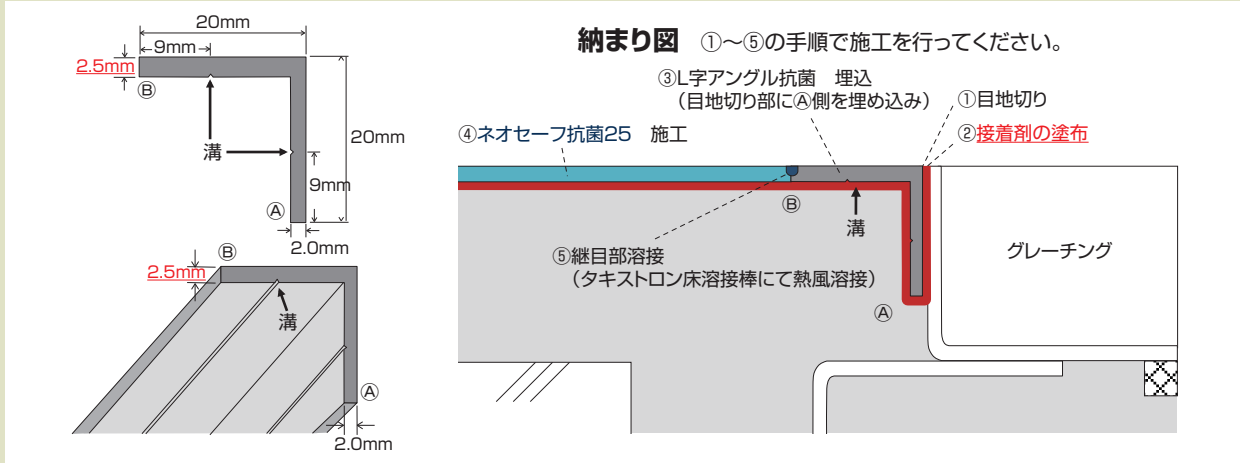




下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

シートの厚みに合わせてL字アンクル抗菌の向きを変えてください。

ネオセーフ抗菌25(2.5mm厚)の場合



納まり図 ①～⑤の手順で施工を行ってください。

ネオセーフ抗菌20(2.0mm厚)の場合

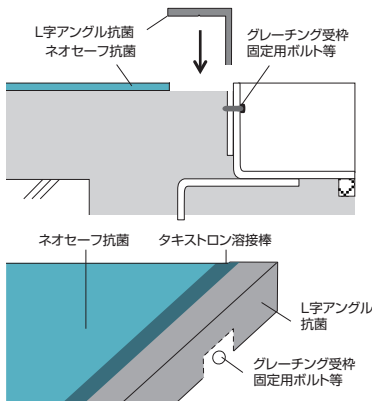
L字アンクル抗菌の目地切り部への差し込み方向を(A)②逆にして、ネオセーフ抗菌20の厚さに合わせて施工してください。他の手順は上図のネオセーフ抗菌25同様です。

1. 下地の確認

- グレーチング廻りに目地切り部が設けてない場合は施工できません。グレーチング受金物(枠)に沿ってダイヤモンドカッターで目地切りしてください。
- 目地切り部の幅がL字アンクル抗菌の埋め込み部の幅以上であることを確認してください。

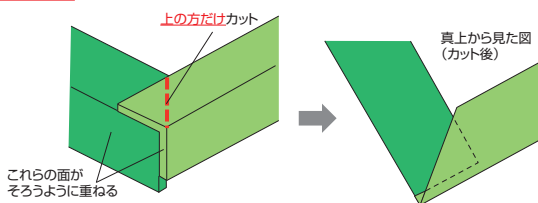
2. 仮置き・裁断

- L字アンクル抗菌とネオセーフ抗菌が同じ厚みになるように仕上げてください。
- L字アンクル抗菌埋め込み用の溝に、グレーチング受枠固定用ボルト等の突起があり溝が部分的に浅い場合には、L字アンクル抗菌の垂れ下がり部を切り取ってください。

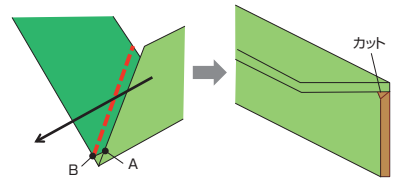


<入隅部>

- (1) L字アンクル抗菌を重ね合わせて、交点のラインで **上**に重ねた方だけをカットしてください。

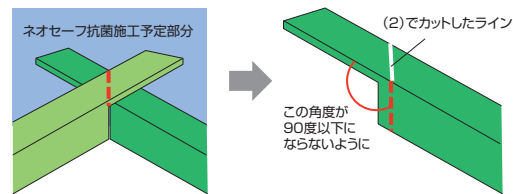


- (2) A点がB点に重なるようにずらし、下に重ねた方をカットしてください。
- (3) はみ出した角の部分をそれぞれカットしてください。



<出隅部>

- (1) L字アンクル抗菌を右図のようにそれぞれカットしてください。
- (2) 重ね合わせて、交点のラインで2枚一緒にカットしてください。
- (3) 下に重ねた方の垂れ下がり部を、下図のようにカットしてください。**(この時、開き角度が90度以下にならないように注意してください。)**



3. 接着剤の塗布・張り付け

- タキボンド#607/#601/#701を塗布し、オープンタイムを取った後、L字アンクル抗菌、ネオセーフ抗菌の順に張り付けてください。
- L字アンクル抗菌とネオセーフ抗菌の厚みが同じになるように仕上げてください。

4. 継目処理

- シートとL字アンクル抗菌との継目処理は、タキストロン床溶接棒にて熱風溶接をしてください。
- シートとL字アンクル抗菌との隙間を空かして溶接する方法は絶対に行わないでください。
- L字アンクル抗菌同士の継目は、シーム材を用いて仕上げてください。

※推奨シーム材 (株)広島
 ・コールドシームA (L字アンクル抗菌同士が密着している場合)
 ・コーナーペースト (L字アンクル抗菌同士の隙間が空いている場合)

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・副資材
P.314

副資材品番一覧
P.328

メンテナンス注意
P.333